

平成30年度第1回JCHO病院新宿地域協議会議事概要

日 時：平成30年6月8日（金）13：00～14：10

場 所：JCHO 東京山手メディカルセンター 3階大会議室

出席者：山藤委員（新宿区健康部健康づくり課）

寺西委員（新宿区笹笥町高齢者総合相談センター）

秋山委員（白十字訪問看護ステーション）

山田委員（新宿区町会連合会）

大崎委員（東京都町会連合会）

原 委員（新宿区医師会）

東京新宿 MC： 関根委員、齋藤委員、野月委員、溝尾委員

東京山手 MC： 矢野委員、中村委員、長谷川委員、笠井委員

司 会：東京山手メディカルセンター院長 矢野哲

議事概要

1. 開会

矢野委員

平成30年度第1回JCHO 新宿地域協議会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日お集りの各関係の方々、地域の皆さんから、新宿区内にあるJCHOの2つの病院に対してご意見をいただき、今後の病院運営に役立てていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

2. 委員の紹介

（各委員より自己紹介）

3. 両施設の取り組みについて

○東京新宿メディカルセンター

溝尾委員：スライド資料により説明(スライド：地域の中の病院)

野月委員：スライド資料により説明(スライド：看護部の取り組み)

○東京山手メディカルセンター

中村委員：スライド資料により説明(スライド：当院の取り組み)

4. 意見交換

○山田委員（新宿区町会連合会）

先程からのお話で先生方もいろいろと勉強をされていて、大変だなと思いました。院長先生自ら地域に足を運び、本当にありがたいと思います。

また、プロジェクトチームでの患者さまへの取り組みは、高齢化になっていく中で、安心して年を重ねていけると思いました。

地域では町会の役員や世話役の方が近所の見守りをしていますが、なかなか全てを把握することは困難であり、病気になったり、認知症になったりするとプライバシーもあることから踏み込んで交流できないので、包括支援センターの方々にお世話になっている状況です。

・関根委員

地域包括ケアに住民の方が参加している中で、我々も病院に留まっている場合ではなく、地域を知っていかないといけないと思います。今後もいろいろと協力していきたいと思っております。

○大崎委員（東京都町会連合会）

医師会より認知症の話を知ったり、実際に認知症の看護を体験して、その大変さを実感しています。

大きな病院へ受診すると予約しても1時間待たされることがあるので、もう少し改善していただけたらと思います。

地域のために意見等あったら遠慮なくお互いに言ってもらって、絆を深め、街づくりをしていかないといけないと思います。

○原委員（新宿区医師会）

大きな病院に受診すると待ち時間の兼ね合いから紹介状を必要とする患者さまがおられますが、遠慮せずに地域のクリニックを活用していただけたらと思います。

地域でのイベントの打ち上げ等、お誘いを受けることがあります。そこでしか会えない患者さんのご家族等に会えるので、改めて積極的に参加しようと思っております。

○山藤委員（新宿区健康部健康づくり課）

健康づくり課の事業には、いつもご協力いただきありがとうございます。今年の病院職員の実習研修につきまして、看護師の応募が多く、8月から実習が始まります。医師については、まだ枠に空きがあるので、是非お申込みいただければと思います。

昨年の5名の医師からは、とても良いアンケートをいただき、医師会誌にも掲載する予定です。

今年の新事業について、昨年作成した介護の冊子を更新しました。新しく調査を行い、新たな内容になっております。今年は冊子を配付するだけでなく、連携で活用していきたい

いと思い、新宿を地区ごとに分けた在宅医療と介護の交流会を10月、11月、12月の3回予定しており、検討会を行います。

交流会には病院の方にも参加をしていただくのですが、自分の事業所のある地区の交流会だけでなく、他の地区の交流会にも参加していただければと思います。また、チラシ等が出来ましたらご案内いたしますので、宜しくお願い致します。

在宅医療ハンドブックを大幅に改定するにあたり、検討委員会を立ち上げるつもりです。改定しましたら、配付等をお願いしたいと思います。

○寺西委員（新宿区笹笥町高齢者総合相談センター）

高齢者総合相談センターでは、総合相談の他にネットワークづくり、ケアマネジャーの支援、虐待権利擁護、介護予防の業務を行っております。

新宿区は高齢者の一人暮らしが多いので、病院へ行く際に包括の職員も同行することがよくあります。

総合相談の中で、近年、病院やご本人からの医療の相談が増えており、特になんがん末期の相談が20%以上を占めております。また、経済的な相談、住まいの相談も増えております。

消費生活相談では振り込め詐欺を受けてから、うつ状態になり自殺するという深刻なケースが増えております。

○秋山委員（白十字訪問看護ステーション）

現在、新宿区内では訪問看護ステーションが44ヶ所あり増加の傾向にあります。その中で、がんの治療後に緩和ケア病棟を探しているその間における生活上や医療上の様々な支援が必要となりますが、手薄となっております。外来から訪問看護指示書を出してもらって、フォローアップをしていただけたらと思います。

東新宿の暮らしの保健室では、新宿区の委託を受けて、がん相談を行っておりますが、病院では聞けない内容や高齢のご家族向けにゆっくり話を聞く場でもありますので、病院の外来だけでなく、地域でもこのような催しがある旨を知っていただき、ご利用いただけたらと思います。

・野月委員

がん相談について、いろいろな心配事に対して医師だけでは診療時間内で対応できないので、ゆっくり話ができることは良いと思います。また、副作用に対する対応や痛みが出てきてからの心配などを相談できたらと思います。

6. 閉会

矢野委員

様々なご意見をいただき、地域の実情や各機関の活動状況などがわかってきました。地域包括ケアシステムは他の区に比べ新宿区では大変進んでおり、認知症の疾患や高齢者のケアがこれから益々、大事になっていくので、この体制を整えて皆さんと一緒に取り組んでいかないといけないと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

関根委員

本日はお忙しい中、ありがとうございました。いろいろヒントになるご意見を頂戴いたしましたので、早速病院で検討したいと思います。

また、11月には今年度第2回目の地域協議会を予定しておりますので、宜しくお願い致します。本日はありがとうございました。

それではこれにて閉会とさせていただきます。

以上にて閉会となる。